

歴史と未来の交流館 基本展示・特別展示事業

目的・ねらい

歴史と未来の交流館において村所蔵文化財を公開・活用し、村の歴史・自然の特徴を展示することで、誰もがいつでも村の歴史や自然を学び理解を深め、郷土への愛着を深めることで魅力あるまちづくりにつなげます。

事業概要

展示室1・2、企画展示室において、テーマを設けて展示を行います。展示の理解を助け、より深く学ぶための展示図録の発行や「とうかいまるごと博物館」と連動した展示に関連する講座やワークショップ、フィールドワークなどの現地とつながる体験活動も一体的に行います。

展示総合テーマ

“多様な人・もの・文化の交流により誕生した「開かれたムラ」”

展示室1

明るく開放的な空間に再現した「水辺のムラ・東海村の風土」を体感。



●人の歴史と自然環境は密接に関係していることを展示します。

●東海村の床地図（絨毯）の上に立つ6つの「歴史ボックス」で、その場所の環境に成り立つ歴史を体感

●環境を示す擬木（河畔林・雑木林・砂防林）や壁面イラスト（真弓山と太平洋を臨む風景）、吊り下げクラフトなどで四季の営みを体感【参加型展示】

●ワークショップや活動成果も展示し、交流を生み出します。

●まる博テーブルで現在と過去の地図を重ねたり、観察会で見つけた植物の場所を示したり、新しい発見と交流が生まれます。

展示室2

実物資料と親しみやすい物語仕立ての展示から人々が紡ぐ村の歴史を学ぶ。

人々が紡ぐ物語

●展示室全体を1冊の本に見立て、「交流」をキーワードに、東海村の風土の中で展開されてきた村の歴史を6つの章立てで展示します。

1. 「照沼のとある青年の物語」

（縄文時代／ヒスイ製大珠・縄文土器・土偶ほか）

2. 「水辺の王の物語」

（古墳時代／埴輪・須恵器・装身具ほか）

3. 「砂と塩の物語」

（中世～江戸時代／陶磁器・火打ち石ほか）

4. 「旅人の物語」

（中世～現在／古文書・村松土産ほか）

5. 「村人の物語」

（トピックス展／古文書ほか）

6. 「開かれたムラの物語」

（近代～現代／想いの言葉）

企画展示室

●展示室1・2では伝えきれない村の歴史や自然を様々なテーマで展示を行います。

●オープニング特別展示

「東海村時空マップ～時の旅人～」

・床面に大きく映し出された東海村の地図上に立つと、その場所に関連する過去の写真やタイムラプス動画が流れる映像システムによる参加型展示

●主な企画展示予定

「農村の生活」
「村民コレクション展」
「縄文と交流展」
「石神小野崎氏」

